

平安王朝の葬送

—死・入棺・埋骨—

隴谷 寿 著

2016年1月刊行

四六判・300頁／定価：本体3,700円(税別) ISBN978-4-7842-1832-5

- ◎本書では、日本古代摂関・院政期の天皇（桓武～安徳天皇）と貴族の葬送儀礼における具体相をさぐり、その相違点を考察する。
- ◎1993年以来、数次におよんだ国際日本文化研究センターでの共同研究「公家と武家」における報告・論文を中心にまとめ、新稿「院政期の天皇」を収録。

予定内容目次

第一章	摂関初期の天皇の葬送 はじめに 桓武天皇／仁明天皇
二	桓武天皇／平城天皇／嵯峨天皇／淳和天皇／仁明天皇 文徳天皇／醍醐天皇 文徳天皇／清和天皇／陽成天皇／光孝天皇／宇多天皇 醍醐天皇 朱雀・村上天皇
第二章	摂関盛期の天皇の葬送 はじめに 冷泉・円融・花山天皇 一条・三条天皇 後一条天皇 後朱雀・後冷泉天皇
第三章	院政期の天皇の葬送 はじめに 後三条・白河・堀河天皇 鳥羽・崇徳・近衛天皇 後白河天皇 二条天皇／六条天皇／高倉天皇／安徳天皇
第四章	貴族の葬送 はじめに 九世紀の状況 藤原冬嗣・良房・基経とその近親 一〇世紀の状況 藤原忠平とその近親／藤原安子／藤原一族と木幡墓地 源保光／藤原定子／婉子女王 一一世紀前半の状況 藤原道長とその近親 一一世紀後半の状況 藤原師実の墓／源師房 一二世紀前半の状況 藤原師実／藤原茂子／藤原俊家とその近親／源麗子 藤原幸子／藤原寛子／藤原璋子／藤原頼頼／藤原全子 一二世紀後半の状況 藤原宗子／藤原泰子／藤原得子／藤原基実／平盛子 平滋子／藤原聖子
付表	平安時代の天皇 葬送一覧
付図	平安京図・天皇陵分布図
人名索引	



高倉天皇 清閑寺陵(著者撮影)

おぼろや・ひさし…1939年生まれ。同志社大学文学部卒業。同志社女子大学名誉教授。平安博物館助教授、同志社女子大学教授、特任教授を経て現職。

主要著書：『源頼光』（吉川弘文館 1989）、『王朝と貴族』（日本の歴史⑥）（集英社 1991）、『藤原氏千年』（講談社現代新書）（講談社 1996）、『源氏物語の風景』（吉川弘文館 1999）、『平安貴族と邸第』（吉川弘文館 2000）、『藤原道長』（ミネルヴァ書房 2007）、『堀河天皇吟抄』（ミネルヴァ書房 2014）等。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	平安王朝の葬送	本体3,700円(税別)	ISBN978-4-7842-1832-5	
お名前		tel		本書HPのQRコード	
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代＋消費税＋送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

歴史のなかの天皇陵

高木博志・山田邦和編

各時代に陵墓がどうあり、社会のなかでどのように変遷してきたのか、考古・古代・中世・近世・近代における陵墓の歴史をやさしく説く。京都アスニーで行われた公開講演に加え、研究者・ジャーナリストによるコラムや、執筆による座談会を収録。

▶A5判・340頁／本体2,500円(税別) ISBN978-4-7842-1514-0

神話・伝承学への招待

斎藤英喜編

桃太郎は、なぜ桃から生まれてくるのだろうか——その答えは『古事記』のなかにあった。これまで別々のジャンルで扱われてきた「神話」と「伝説」「昔話」について、総合的・学問的に研究する「神話・伝承学」。本書は11の章と7つのコラムにより、魅力ある「神話・伝承学」の世界へいざなう、格好の入門書。

▶A5判・266頁／本体2,300円(税別) ISBN978-4-7842-1813-4

怨霊・怪異・伊勢神宮

山田雄司著

古代・中世社会で大きな意味をもち、社会の底流で歴史を動かしてきた怨霊・怪異。早良親王・菅原道真・崇徳院などの怨霊や、様々な記録・伝承される怪異など、その諸相を歴史的に跡づける。さらには親鸞や伊勢神宮といった、神と仏をめぐる領域をも射程に入れて集大成する。

▶A5判・448頁／本体7,000円(税別) ISBN978-4-7842-1747-2

日本古代都市史研究 古代王権の展開と変容

堀内明博著

永年、平安京などの都市遺跡発掘調査に携わった著者の研究成果。長岡京の東宮と左京東院、平安京の条坊と市・町の形態、宅地と建物配置などの王朝都市から、白河・鳥羽殿、源氏・平氏の館などの中世前期都市まで、都城の展開と変容過程を時系列的に分析し、古代王権のあり方を考古学の成果を踏まえて解明した一書。掲載図版多数。

▶B5判・514頁／本体15,000円(税別) ISBN978-4-7842-1457-0

御堂関白記全注釈 [全16冊]

山中裕編

藤原道長の日記「御堂関白記」は平安時代を代表する一級史料。本全注釈は永年にわたる講読会(東京・京都)と夏の集中講座による成果を盛り込んだもので、原文・読み下しと詳細な注によって構成されて、日記研究の基本文献としての体裁を整えている。

▶A5判・平均250頁／揃本体107,000円(税別)

栄花物語・大鏡の研究

山中裕著

国文学の分野ではとりあげられ、歴史学の方面からの研究は少ない状態である『栄花物語』に内包される歴史書としての特徴を考究し、かつ『大鏡』の歴史的意義についても論究。従来からの歴史物語という分野に収まりきれない可能性を提示する。

▶A5判・404頁／本体7,200円(税別) ISBN978-4-7842-1640-6

平安貴族社会の秩序と昇進

佐古愛己著

律令国家体制が維持されていた平安初期から、平安末・鎌倉初期までを射程として、貴族社会の構成と編成原理を解明する大著。本書では、平安から鎌倉初期にかけての各制度の総体的な把握を試みることに、律令官人制から平安貴族社会、中世公家社会の成立過程を明らかにし、日本の古代から中世への移行の特質を探究する。

▶A5判・572頁／本体7,800円(税別) ISBN978-4-7842-1602-4

公家と武家 [全4冊]

村井康彦・笠谷和比古編

国際日本文化研究センターで行われた公家(貴族)と武家に焦点を合わせた共同研究の成果。▶A5判・平均490頁／

I その比較文明的考察 本体7,800円(税別)

II 「家」の比較文明的考察 本体9,400円(税別)

III 王権と儀礼の比較文明的考察 本体7,800円(税別)

IV 官僚制と封建制の比較文明的考察 本体8,500円(税別)

※奈良朝人物列伝 『続日本紀』薨卒伝の検討

林陸朗著

『続日本紀』には王臣・僧侶等の死没記事のあとに、その人の略伝的な記事を掲げることがある。これを薨卒伝といい、撰者の批評的記事を受けた極めて特色ある史料として注目される。本書は『続日本紀』収録の全54名の薨卒伝をとりあげ現代語訳・訓読・原文・語句解説・考察で構成。

▶A5判・468頁／本体7,000円(税別) ISBN978-4-7842-1517-1

平安時代陰陽道史研究

山下克明著

陰陽道の成立・展開期である平安時代を中心に、仏教・神祇信仰と並ぶ宗教としての陰陽道のあり方、陰陽師たちの天文観測技術や呪術・祭祀など活動の実態とその浸透、彼らの信仰などをさまざまな角度から明らかにする。陰陽師が残した日記である『承久三年具注曆』の翻刻を収める。

▶A5判・460頁／本体8,500円(税別) ISBN978-4-7842-1780-9

訓讀註釋 儀式 踐祚大嘗祭儀

皇學館大学神道研究所編

天皇一代一度の国家祭祀・大嘗祭の祭祀・儀式の全貌を示す、最も古い確かな文献である『儀式』(貞観儀式)。本書は、皇學館大学神道研究所が長年に亘り取り組んできた、現存本『儀式』巻二・三・四「踐祚大嘗祭儀 上・中・下」の訓読・注釈研究の成果。皇學館大学創立百三十周年・再興五十周年記念出版。

▶B5判・890頁／本体15,000円(税別) ISBN978-4-7842-1619-2

古代日本の衣服と交通 装う王権 つなぐ道

武田佐知子著

衣服が着用される儀礼の空間としての都と地方が、連続した人工的空間としての道路で結ばれていること、その道路の国家と公民における意味、そこでの衣服の機能などを考察の対象とした諸論考を冒頭に配し、古代の中国や朝鮮半島の衣服を継受しながら形成されてきた日本列島の衣服制を見通す。

▶A5判・420頁／本体6,800円(税別) ISBN978-4-7842-1723-6

増補改訂 兵範記人名索引

兵範記輪読会編

1980(昭和55)年の輪読会発足より蓄積された研究成果を人名索引として集成。(増補)史料大成本を底本とし、男子の部と女子の部の2部構成よりなり、人名項目のもとに掲出年月日と原文表記を掲げ、原本の情報を盛り込んだ、古代・中世史研究者必携の一書。本文篇の誤り・遺漏等を訂正、「異称・通称名索引」を増補する。

▶A5判・524頁／本体9,000円(税別) ISBN978-4-7842-1713-7

摂関時代文化史研究

関口力著

思文閣史学叢書

藤原道長の時代の古記録・日記類から、摂関時代全盛期に生きた人物および彼らをはぐくんできた社会について考察。政権を掌握した体制派、それに対する反体制派、そうした官人群とは一線を画した非体制派の人物群という基本的な人間類型を示すことにより、人間が主人公である歴史の在り方について追求する。

▶A5判・488頁／本体9,000円(税別) ISBN978-4-7842-1344-3

中世前期女性院宮の研究

山田彩起子著

院政・鎌倉期における女性院宮(女院・后)の多様な存在形態を様々な視点から分析。第一部では、国母の存在形態の多様性と王家における役割・位置付けを検証し、第二部では、摂関家出身の女性院宮の摂関家における独自の役割の大きさを論証する。中世前期の女性院宮研究のみならず、中世の公家社会研究に寄与する一書。

▶A5判・310頁／本体5,600円(税別) ISBN978-4-7842-1496-9

神仏習合の歴史と儀礼空間【オンデマンド版】

嵯峨井建著

神宮寺における神祇奉斎、寺院附属の鎮守社、仏教儀礼である神前読経、神職系図に基づいた神道周縁の仏法との関わり、神仏への天皇行幸、中近世をつうじた京都における神仏習合など、豊富な事例とともに神仏習合の諸形態を丹念にまとめた実証研究。オンデマンド版(初版2013年)。

▶A5判・430頁／本体8,600円(税別) ISBN978-4-7842-7000-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。